

- 問1 豊臣秀吉による2度の朝鮮出兵において、日本軍が朝鮮半島で戦った現地の王朝と、秀吉が征服の最終目標としていた中国の王朝の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 1. 現地の王朝：高麗
目標とした王朝：元 | 2. 現地の王朝：新羅
目標とした王朝：唐 | 3. 現地の王朝：朝鮮（李氏朝鮮）
目標とした王朝：明 | 4. 現地の王朝：朝鮮（李氏朝鮮）
目標とした王朝：清 |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
- 問2 15世紀以降、地球は丸いという考えに基づいた航路開拓が進む中、カトリック教会がヨーロッパ以外の地域で積極的に布教活動を行った背景として最も適切な説明はどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. プロテスタントの諸国と協力して、世界中に共通のキリスト教義を広めることで、ヨーロッパ内の紛争を解決しようとしたから。 | 2. 十字軍の遠征が失敗に終わり、イスラム勢力に対抗するための軍事同盟をアジアの諸国と結ぶことが急務となったから。 | 3. ルネサンスの影響で科学的知識が普及したため、キリスト教の教えが科学的に正しいことを証明する資料を求めているから。 | 4. 宗教改革の影響でヨーロッパ内での支持を失いつつあったため、新たな信者を獲得して勢力を立て直そうとしたから。 |
|---|---|---|--|
- 問3 鎌倉時代に栄西によってもたらされた禅宗（臨済宗）と、安土桃山時代に行われた天正遣欧使節の派遣について、それぞれの背景や特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 禅宗は厳しい修行を重視したため当時の幕府や武士に受け入れられ、天正遣欧使節は宣教師の勧めにより西洋のキリスト教世界の状況を確認するために派遣された。 | 2. 禅宗は「南無阿弥陀仏」と唱えるだけで救われると説いたため農民に広まり、天正遣欧使節は江戸幕府による鎖国政策を止めるよう交渉するために派遣された。 | 3. 禅宗は加持祈祷によって現世の利益を追求したため公家に好まれ、天正遣欧使節は鉄砲の大量購入と火薬の原料を確保する契約を結ぶために派遣された。 | 4. 禅宗は経典の読誦を一切否定したため庶民の間で爆発的に流行し、天正遣欧使節は明との勘合貿易を再開させるための許可を得るために派遣された。 |
|---|---|--|--|
- 問4 桃山文化期の建築様式である「書院造」が、城郭建築において果たした役割や特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|--|
| 1. 高床の倉庫に代表される、湿気を防ぐための簡素な構造が中心であった。 | 2. 禅宗の影響を強く受け、質素で落ち着いた空間を追求した。 | 3. 襖や障子に和紙を多用し、その表面に金碧障壁画を描いて権威を誇示した。 | 4. 貴族が中心となった文化であり、左右対称の美しい庭園と渡殿が特徴である。 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|--|
- 問5 1573年に、織田信長が当時の将軍を京都から追放したことにより、約240年続いた室町幕府は滅亡しました。このとき京都から追放された、室町幕府最後の将軍は誰ですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利尊氏 | 2. 足利義満 | 3. 足利義政 | 4. 足利義昭 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 豊臣秀吉は、大陸への進出（朝鮮出兵）を企て、その拠点として現在の佐賀県に巨大な城を築きました。多くの大名が集結したこの城の名称を次から選んでください。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 伏見城 | 2. 大阪城 | 3. 名護屋城 | 4. 安土城 |
|--------|--------|---------|--------|
- 問7 15世紀、スペインがコロンブスの航海を援助した目的と、その航海の結果生じた歴史的背景について述べた次の文の空欄に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「スペインは（X）を求めてコロンブスの航海を支援したが、彼は1492年に現在の（Y）に到達した。」 (2017年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|-----------------------|------------------------|---------------------|
| 1. X：アフリカの金 Y：喜望峰 | 2. X：アジアの香辛料 Y：西インド諸島 | 3. X：地中海の絹織物 Y：フィリピン諸島 | 4. X：北米の毛皮 Y：マゼラン海峡 |
|-------------------|-----------------------|------------------------|---------------------|
- 問8 安土桃山時代、千利休が造ったとされる「待庵（たいあん）」は、当時の茶の湯の精神を象徴する建築物として知られています。この建築物の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 武家の住居様式である書院造の形式を忠実に守り、広大な床の間を備えている。 | 2. 金箔をふんだんに使用し、時の権力者の富と権威を誇示する造りとなっている。 | 3. 中国から伝来した高価な茶器を並べて鑑賞するために、明るい照明と広い空間を確保している。 | 4. 畳の広さをわずか二畳にするなど、極限まで無駄を削ぎ落とした空間となっている。 |
|---|---|--|---|
- 問9 戦国時代から安土桃山時代にかけて、石見銀山などで採掘された銀を用いた「石州丁銀」などの銀貨が広く流通しました。この時期の貨幣をめぐる状況について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 銀貨は主に東北地方の金山開発によってもたらされた金と交換するただけに作られた。 | 2. 豊臣秀吉は貨幣制度の全国統一を目的として、初めて全国共通の紙幣を各地で発行した。 | 3. 灰吹法などの精錬技術の導入により銀の生産量が増え、軍事費や海外貿易の支払いに利用された。 | 4. 貨幣の形を円形に統一するため、棒状や板状の銀貨はすべて回収され、和同開珎に作り直された。 |
|--|---|---|---|
- 問10 現在の島根県に位置し、戦国時代から江戸時代にかけて日本最大の銀産出量を誇った銀山について、16世紀に朝鮮半島から伝えられ、生産量を劇的に増大させた精錬技術の名前として正しいものを選んでください。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------------|---------|--------|
| 1. たたら吹き | 2. 灰吹法（はいふきほう） | 3. 南蛮絞り | 4. 上尊法 |
|----------|----------------|---------|--------|
- 問11 戦国時代から安土桃山時代にかけて、織田信長をはじめとする各地の大名がキリスト教の布教を認め、ポルトガルやスペインとの南蛮貿易を積極的に推奨した主な目的は何ですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 仏教勢力を完全に排除するためにキリスト教を国教とするため | 2. 鉄砲や火薬などの最新の武器を手して軍勢力を高めるため | 3. 鎖国体制をより強固なものにして国内の秩序を安定させるため | 4. ヨーロッパに日本の茶や陶磁器を大量に輸出して利益を得るため |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問12 豊臣秀吉が「太閤検地」において、全国でバラバラだった「升（ます）」の大きさを統一したり、田畑の等級を定めたりした理由として、正しいものはどれですか。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|--|------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 武士が自分の領地で勝手に税率を決める権利を強めるため | 2. 土地の生産力を正確な「石高」として把握し、不公平なく年貢を徴収するため | 3. 農民が自由に土地を売買できるようにして、農業の効率化を図るため | 4. 全国の測量技術を向上させ、正確な日本地図を完成させるため |
|-------------------------------|--|------------------------------------|---------------------------------|
- 問13 南蛮貿易において、日本が中国産の生糸を輸入する際の対価として、大量の「銀」が輸出された経済的背景を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 当時の中国（明）では、税を銀で納める制度が普及し、銀の需要が非常に高まっていたため。 | 2. 当時の日本には絹織物を作る技術が全く存在せず、生糸を輸入するために銀を全量放出したため。 | 3. 当時の日本国内では貨幣として銀を使用することが禁じられており、国外へ出すしかなかったため。 | 4. ポルトガル人が日本産の金や銅の品質を認めず、銀による支払いのみを要求したため。 |
|---|---|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 現地の王朝：朝鮮（李氏朝鮮） 目標とした王朝：明	当時の朝鮮半島は朝鮮王朝（李氏朝鮮）が統治しており、李舜臣率いる水軍や各地の義勇軍が日本軍に対して激しい抵抗を続けました。秀吉が最終的な征服対象としていたのは中国の明ですが、明も朝鮮側に援軍を送って日本と戦いました。なお、清は明の後の時代に中国を支配した王朝です。
問2	答え 4 宗教改革の影響でヨーロッパ内での支持を失いつつあったため、新たな信者を獲得して勢力を立て直そうとしたから。	宗教改革（対抗宗教改革）の時期、カトリック教会はプロテスタントに奪われた勢力を補うため、大航海時代による地理的知識の拡大を利用して世界規模での布教を試みました。これは、単なる宗教的情熱だけでなく、教会の組織維持や勢力回復という明確な目的を持った組織的な動きでした。
問3	答え 1 禅宗は厳しい修行を重視したため当時の幕府や武士に受け入れられ、天正遣欧使節は宣教師の勧めにより西洋のキリスト教世界の状況を確認するために派遣された。	鎌倉時代に宋から伝わった禅宗（臨済宗や曹洞宗）は、自らの修行によって悟りを開こうとする姿勢が、当時の新興勢力であった武士の気風に合い、鎌倉幕府などの保護を受けました。また、天正遣欧使節は、戦国時代のキリシタン大名たちがイエズス会の宣教師ヴァリニャーノの勧めを受け、キリスト教世界の威容に触れるとともに、日本での布教への支援を求める目的などで派遣されました。選択肢にある念仏による救済は浄土宗などの特徴であり、鎖国や鉄砲購入、勘合貿易などはこれら二つの事柄の本来の背景とは異なります。
問4	答え 3 襖や障子に和紙を多用し、その表面に金碧障壁画を描いて権威を誇示した。	書院造はもともと武家の住居様式として発展しましたが、桃山文化においては、主君と家臣が対面する儀式の場としての役割が重視されました。そのため、和紙で作られた襖や障子には、狩野派などによる壮麗な障壁画が描かれ、訪れる者に大名の強大な権力を誇示する空間が作り出されました。質素さを追求したのは東山文化の特色です。
問5	答え 4 足利義昭	織田信長は1568年に足利義昭を奉じて京都に入り、彼を第15代将軍に就けましたが、その後両者は対立を深めました。信長が1573年に義昭を京都から追放したことで、足利氏による幕府機構は事実上消滅しました。足利尊氏は室町幕府の初代将軍、義満は第3代、義政は第8代将軍です。
問6	答え 3 名護屋城	豊臣秀吉は、朝鮮半島への出兵（文禄・慶長の役）に際し、九州の肥前国（現在の佐賀県）に拠点となる名護屋城を築きました。この城の周辺には全国から動員された大名たちの陣屋が立ち並び、大陸侵攻の司令部としての役割を果たしました。愛知県にある名古屋城とは漢字が異なる点に注意が必要です。
問7	答え 2 X：アジアの香辛料 Y：西インド諸島	当時、オスマン帝国の台頭により陸路での貿易が困難になったため、ヨーロッパ諸国は直接アジアへ向かい、高価な香辛料を手に入れるための新しい航路を求めていました。コロンブスはスペインの援助を受け、アジアを目指して大西洋を横断した結果、1492年に西インド諸島へ到達しました。
問8	答え 4 畳の広さをわずかに二畳にするなど、極限まで無駄を削ぎ落とした空間となっている。	妙喜庵にある待庵は、千利休の思想が反映された現存する唯一の茶室遺構とされています。わずかに二畳という極めて狭い空間に、土壁やにじり口（小さな出入り口）を設けることで、茶室の中では身分の差を忘れ、主客が対等に向き合う精神的な深まりを追求しました。
問9	答え 3 灰吹法などの精錬技術の導入により銀の生産量が増え、軍事費や海外貿易の支払いに利用された。	戦国時代に大陸から「灰吹法」という精錬技術が伝わったことで、石見銀山（島根県）などで銀の生産量が飛躍的に向上しました。これにより「石州丁銀」のような銀貨が作られ、戦国大名の軍事資金や、ポルトガル・スペインとの南蛮貿易における主要な支払い手段として世界経済にも大きな影響を与えました。
問10	答え 2 灰吹法（はいふきほう）	石見銀山では、1533年に博多の商人である神屋寿禎（かみやじゅてい）が朝鮮半島から技術者を招き、灰吹法を導入したことで銀の純度と生産効率が飛躍的に向上しました。この技術革新により、石見銀山は世界有数の銀産出地となり、大航海時代の世界経済に多大な影響を及ぼすこととなりました。また、この銀山は山陰地方の海岸に近い場所に位置し、輸出拠点へのアクセスが良いことも特徴でした。
問11	答え 2 鉄砲や火薬などの最新の武器を入手して軍事力を高めるため	戦乱の時代において、大名たちは合戦を有利に進めるために鉄砲やその原料となる火薬を必要としていました。これらの軍需品は南蛮貿易を通じて輸入されていたため、大名たちは貿易の利益や武器の調達を目的として、宣教師の活動を保護したり、自らキリスト教徒（キリシタン大名）になったりすることがありました。
問12	答え 2 土地の生産力を正確な「石高」として把握し、不公平なく年貢を徴収するため	それまでは地域や領主ごとに測定基準が異なり、正確な生産量の把握が困難でした。秀吉は「京升」に基準を統一し、土地の良し悪しに応じた生産量を「石高」という単位で検地帳に記録しました。これにより、農民には年貢の負担義務を、武士には石高に応じた軍役（軍事的な負担）の義務を課す仕組みが確立されました。
問13	答え 1 当時の中国（明）では、税を銀で納める制度が普及し、銀の需要が非常に高まっていたため。	当時の中国（明）では、一条鞭法（いちじょうべんぽう）という、複雑な税制を銀に一本化して納める制度が広まっていました。このため、中国国内では銀が慢性的に不足しており、日本産の銀は生糸などの対価として非常に有利に取引されました。この需要の高さが、日本からの大量の銀輸出を支える要因となりました。